マイナンバーカード取得促進の取組 兵庫県神戸市の取組事例

〇市内商業施設での休日出張申請受付

1. 概要

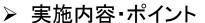
- ▶ 市内大型商業施設にて土曜、日曜の連続2日間、出張申請受付を実施
- ▶ 出張先で本人確認を済ませ、できあがったカードは本人限定受取郵便にて送付

2. 実施詳細・ポイント

▶ 令和元年度 実績(2日間での申請者数、他市町村住所地の方も受付)

6/8(土)・9(日) イオンモール神戸南(神戸市兵庫区) 592人 6/22(土)・23(日) 西神中央プレンティ(神戸市西区) 1,282人 9/7(土)・8(日) イオンモール神戸北(神戸市北区) 470人 12/7(土)・8(日) ウェルブ六甲道(神戸市灘区) 488人 1/18(土)・19(日) 須磨パティオ(神戸市須磨区) 1,607人

計10日: 4,439人



- ①日時・場所・持ち物の事前告知(約1か月前~) 市広報紙、商業施設の広告(折込チラシやLINE、ホームページなど)、新聞折込広告、交通広告など
- ②出張申請受付方式による申請受付(当日)

手順:書類記入(交付申請書、暗証番号設定依頼書)→本人確認→顔写真撮影 体制:市職員7~8人(本人確認)、委託事業者5~6人(場内誘導、申請書記載指導、顔写真撮影)

③カード交付(約1~2ヶ月後)・・・本人限定受取郵便にて送付

3. 効果

- ▶ 区役所に来庁せず、休日だけで手続きが完結することが勤労者やファミリーなど幅広い層に好評。
- ▶ 事前広報で必要書類持参を促すことにより、本人確認が可能な方が多数であった。



マイナンバーカード取得促進の取組 和歌山県和歌山市の取組事例

○マイナンバーカード出張申請窓口の開設(商業施設等)

1. 概要

- ▶ 市民が日常利用する商業施設において、申請機会の増加を図るため、市役所等の窓口へ行く時間が取れない方などが申請手続きを行えるよう出張申請窓口を開設。
- ▶ 通知カード等の用意がなくても、顔写真の撮影や申請書記入のサポートなどの申請補助を行い、その場で申請を受付し発送を代行。 ※個人番号が分からない場合などは、専用封筒を交付し、自宅等で記入の上、申請者自身での投函を依頼
- 2. 実施詳細・ポイント

【問題①】カード交付申請数が少ない

〈市民の声〉

「申請書の記入方法が分からない」 「市の窓口へ行くのが難しい」 「顔写真の撮影が煩わしい」 【問題②】カード交付枚数が少ない

〈市民の声〉

「受取に行く時間がない」 「市の窓口へ行くのが手間」 「自宅に送付してほしい」

◆出張窓口の様子



◆簡易テントを使用し、屋外実施

負担軽減

に配慮

出張申請サポート (H30.12~)

◆事前広報

市の広報紙・<u>ホームページ・フェイス</u> <u>ブック・ツイッター</u>を用いて、幅広い年齢 層に周知

◆出張窓口開設 申請サポート+申請書の発送代行 若年層 にもPR



ステップアップ

出張申請受付 (R1.6~)

◆申請受付 申請サポート・申請書の発送代行 +本人確認

※書類での確認のほか、本庁に電話確認し、不備を防止

◆サービスの向上 本人限定受取郵便での交付により、 市役所への来庁が不要となる



3. 効果

- ▶ 実績 回数 53回 申請受付件数 3,377人(平成30年12月~令和元年12月開催分の累計)
- ▶ 出張窓口受付時間 約10分/人(出張申請受付)※市の窓口では約25分/人
- ▶ 出張申請受付での申請受付を実施することで、申請者数の増加ならびに未交付のカードが減少し、交付率の増加につながった。

マイナンバーカード取得促進の取組 秋田県北秋田市の取組事例

〇イベントでの出張申請受付・申請サポート

1. 概要

- ▶ 北秋田市産業祭において、「マイナンバーカード取得促進コーナー」を設け、周知活動を実施
- ▶ 無料写真撮影を行い申請サポートを実施
- ▶ 本人確認書類が揃っている場合には、タブレット端末を使用して出張申請受付を実施

2. 実施詳細・ポイント

- ▶ 市民が多数集まる産業祭においてPRコーナーを設け、リーフレットや、PRグッズ (ポケットティッシュ、シール等)を配布して申請方法などを周知。
- ▶ 本人確認書類等が揃っている場合は、その場で写真撮影を行い、タブレット端末 を利用してのオンライン申請や申請書の記入サポートを実施。

〇出張申請受付方式

本人確認書類等を持参 (事前に広報等で周知)

写真撮影申請サポ

本人限定受取 郵便で交付

〇交付時来庁方式 (申請サポート) その場でマイナンバーカードに関心

市役所窓口で
交付

【ポイント】

ID付き申請書がある場合は、 オンライン申請。無い場合は、 写真をプリント。





《当日の様子》

3. 効果

- ▶ 2日間で通常1ヵ月分にあたる63人の申請を受け付けた。
- ▶ イベント1日目に申請方法について案内を受けた人が2日目に申請に訪れた。
- ▶ マイナンバーカードに関心を持つことによって、後日の申請につながっている。

マイナンバーカード取得促進の取組 長野県喬木村の取組事例

○イベント・地域活動に際し、タブレットとFree Wi-Fiスポットを活用した出張申請受付

1. 概要

- 文化祭などの各種イベントや社会教育など、人の集まる場に出向き、村設置のFree Wi-Fiスポットとタブレット端末を使用し、出張申請受付及び申請サポートを実施。
- ▶ 申請のための外部アドレス(役場管理のGmail)を利用することで、不備通知等に対してフレキシブルな対応ができる。

2. 実施詳細・ポイント

村で整備したFree Wi-Fiスポットは公民館やグランド等人の集まりやすい場所であるとともに、イベントの実施も多い。この環境を利用し出張申請受付又は申請サポートを実施。※事前周知は町広報誌等により実施

【申請手順】

- ・申請にあたっては、職員によって撮影した写真の利用や、Gmailアドレスを使うことなどを説明、承諾署名をいただく。(★手続時の追加確認ポイント)
- ・タブレット端末により写真撮影、QR読込から申請サイトアクセス、必要な事項入力は職員が補助し、都度本人にタブレット画面を見せて確認、申請手続。
- ・通知カードをはじめ、すべての書類が整っているときについては「出張申請受付」を実施、本人限定受取郵便で交付、不足等ある場合は「申請サポート」を 実施、市役所でカード交付。

【主な取組実績】

- ▶ 村総合文化祭(交流センター周辺)
 - ・ 出店ブースを設け申請サポート (2019年 11月16日(土)、17日(日)) (ブース内に簡易撮影スペース設置)
- ▶ 消防団行事(公民館周辺)
 - 消防団出初式 (2020年1月12日)
 - ・団員向け健康診断(2020年1月19日)

◇その他 申請サポートの取組

- •参院選期日前 投票所
- ・村夏祭り ブース出店
- ・各地区敬老会 など

☆手続時の追加確認ポイント

『個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行申請書』 に下記4項目の条件を追記し、承諾署名をいただく。

- □ 職員が撮影(写真データはカード交付後、削除処理)
- □ 外部アカウント(Gmail)を経由した、メールの送受信による手続
- □ 個人番号カードの暗証番号設定を職員に依頼
- □『本人限定受取郵便』受取方法の注意

▶ 少年野球クラブ(村総合グランド)(2020年1月~随時)

・クラブ員(小学生)への制度説明、保護者同席者はその場で親子分の申請

3. 効果

- ▶ 上記取組による申請57人
- ▶ 2019年7月~12月末累計180人

(内 出張申請受付107人)

前年度年間交付数 34人 9ヶ月で5.3倍 カード保有率6.10%(前年度末)→9.03%(12月末)





